

令和5年度「日向の未来を市長と語る会」 ご意見に対する市の考え方

■開催日時 令和5年7月18日(火)

■開催会場 【東郷公民館】 参加者数 49名

意 見	市の考え方
○水稲栽培の受託農家の育成について 水稲栽培の受託農家の育成をどう考えているのか。	水稲栽培を含め、農業従事者の高齢化や後継者の不足が懸念されている中、多様な担い手による持続可能な農業の実現を図るため、国庫事業を活用した新規就農者の育成・確保の支援ほか、都市圏で開催される就農説明会等に積極的に参加して農業に興味のある人の掘り起こしなど本市農業の担い手確保に努めています。
○空き家対策について 空き家対策についてはどう考えているのか。	<p>利活用できる空き家は、所有者等に空き家等情報バンクへの登録をお願いし、家財処分費の補助や県外からの移住者が居住する場合のリフォーム補助を行っているほか、東郷地区においては、空き家を借上げ改修して移住者等へサブリース（転貸）する事業に取り組んでいるところです。</p> <p>倒壊等のおそれのある危険な空き家は、所有者等へ助言・指導を行うとともに、除却補助金による支援を行っています。また、令和6年4月から相続登記が義務化されますので、関係する団体等と連携し制度の周知を図り、空き家の適切な管理、利活用の促進に取り組んでいきます。</p>
○高齢者化社会について 市長の説明の中で、高齢化社会についての話がなかったが、どう考えているのか。	<p>高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう「地域包括ケアシステム」の深化・推進に引き続き取り組んでいきます。</p> <p>また、「地域共生社会」に向けて、地域全体で支えあう取組に元気な高齢者が一躍を担っていただくことが重要であることから、ボランティアの担い手やシルバー人材センター等の活動への参加を推進したいと考えています。</p>

<p>○東郷町文化センターについて</p> <p>現在、空調、音響、トイレも使えない状態であることをご存知なのか。今後この文化センターをどのように考えているのか。</p>	<p>経年劣化に伴い施設の老朽化が進んでおり設備等の不具合が発生していることから、年次的に修理を進めています。本年度はトイレの不具合箇所の修理を実施していますが、市有施設の老朽化は市全体の問題と捉えていることから、今後の利用については、慎重に検討していきます。</p>
<p>○過疎地域振興基金の活用について</p> <p>地域の集落機能を持続させるために、安定的な財源補助金として各区に補助していただけないか。過疎地域振興基金は活用できるのではないか。</p>	<p>集落機能の低下は、少子高齢化に伴う人口減少問題のほか、区への未加入世帯の増加も要因の一つとなっており、市全体の課題となっています。「過疎地域振興基金」は、旧東郷地域においてのみ活用できる基金のため、各区への補助といった活用は公平性の観点から難しいと考えます。</p>
<p>○地籍調査について</p> <p>東郷地区の地籍調査は、字ごとに進められてきたが、結果として、法務局の字図が取れない状態が、発生しているところがある。どういう問題からこうなったかということ等について、事後対策についてお願いしておきたい。</p>	<p>地籍調査実施時に何らかの理由で境界が決まらなかった土地については、状況によっては隣接地も含め筆界未定となり、法務局の地図上は境界が表示されません。理由としては地権者の立会いがなかった、境界について合意が得られなかったなど個々の案件によって事情が異なりますので、法務局へ登記後の対応も含め、個別にご相談ください。</p>
<p>○東郷地域振興策について</p> <p>東郷地域の財源を増やすとしたら、企業誘致、もしくは移住者の増加の他にどんなことが考えられるのか。</p>	<p>「交通問題」や「空き家問題」の解消など、住みやすい環境づくり・特色のあるまちづくりを進めていく必要があります。そのためには、日向市東郷地域振興計画に掲げられた「住民の役割」「行政の役割」をそれぞれがしっかり取り組んでいくことが大切であると考えています。</p>
<p>○結婚対策について</p> <p>独身者が非常に多いが、これに対する結婚対策を考えていただけないか。</p>	<p>本市では、若者の結婚を後押しするため、結婚に伴う新生活に要する経費の一部を補助し、経済的負担の軽減を図るほか、結婚を希望する人を応援するため、「みやざき結婚サポートセンター」など、結婚相談所への入会登録料の一部を補助しています。今後もこうした取組の周知に努めていきます。</p>

<p>○農業、林業対策について 農業、林業の将来への対策はどのように考えているのか。</p>	<p>農業については、高齢化や後継者不足に伴い、離農などによる遊休農地の増加や担い手の確保・育成が重要な課題となっており、持続可能な農業の実現を図るためには、異業種からの農業参入による農地集積やスマート農業の導入による省力化を進めるなど、多様な人材が農業で活躍できる環境づくりが必要であると考えています。</p> <p>林業については、森林を将来にわたって持続的に循環させ、多面的機能を発揮させていくため、主伐後の再造林をはじめ、その後の下刈、間伐等の森林整備の推進が重要となります。特に再造林を推進するため、人材の確保とともに、伐採と造林の「一貫施業」を促進し、造林コストの軽減を図っていきたいと考えています。</p>
<p>○移住対策について 移住者対策はどういうふうに進めているのか。</p>	<p>本市への移住（U I J ターン）及び定住の促進を図るため、令和3年に開設した移住専用サイト「ヒュー！日向 ヒュー！っと移住」を活用した情報発信や都市部で移住セミナー等を開催するほか、今年度、東郷町域内に「お試し滞在施設」を新たに整備し、市内3棟のお試し施設を運営していくことにしています。その他、都市圏からの移住者に対する支援金や日向商工会議所が実施する移住促進事業への補助を行っています。</p>
<p>○日向市の将来ビジョンについて 日向市の10年後、20年後のビジョンはどのように考えているのか。</p>	<p>本市は、令和2年2月に改訂した「日向市人口ビジョン」において、2045年の人口を48,000人以上とする数値目標を掲げており、第2次日向市総合計画では「若者と女性に選ばれるまち“日向”未来戦略」を重点戦略に掲げ、本市の将来像の実現に向けて様々な施策に取り組んでいます。</p>
<p>○東郷診療所の設計について 東郷診療所がなぜコンクリート造りじゃなく、鉄骨造りになったのか。</p>	<p>構造計画については、木造・鉄筋コンクリート造も含めて施工性・工期・コストの面から比較検討しました。</p> <p>その結果、鉄骨造は基本的に工場製作製品の組み合わせであり、天候に左右されにくく、施工性に優れており、木造や鉄筋工クリート造と比較すると、大工職、鉄筋職等の技能単価の影響を受けにくいこと、また、他の工法と比較すると、低コストで耐震性、安全性が確保でき、将来改修の必要性が生じた場合の対応が容易であることなどにより、鉄骨造の建築で実施することに決定したものです。</p>

○総合体育館について

大王谷の体育館は本当に必要なものかどうか。仮に地震津波が来ても、あそこにみんなが避難できるわけではない。あの周辺の人だけだと思う。

現在の「日向市体育センター」と「日向市武道館」は、多くの市民の皆さんにご利用いただいておりますが、建設から約50年が経過し、老朽化に加え、耐震性にも課題があることから、総合体育館を整備し、利用者の安全性や利便性を確保する必要があります。また、多発する自然災害に備え、市民の皆さんの安全・安心を確保するためにも、災害発生時に各地の一次避難場所で身の安全を確保した後に、中長期的に生活できる二次避難施設として活用できる体育館の整備が急務であると考えています。

令和5年度「日向の未来を市長と語る会」 ご意見に対する市の考え方

■開催日時 令和5年7月19日(水)

■開催会場 【日知屋公民館】 参加者数 37名

意 見	市の考え方
<p>○サンパーク温泉について</p> <p>「お舟出の湯」は、露天風呂など、日向灘を見ながら、全国に誇れる施設と 思っている。水森かおりさんが日向岬という歌で全国にアピールしながら、日 向を PR しており、「お舟出の湯」を再開してもらったら、さらに日向の PR になると思う。今後どう考えているのか。</p>	<p>温泉施設を再開するためには、施設内の設備等の改修が必要となります。その支援策 として改修費に対する補助金の交付を考えており、譲渡の条件に追加し再公募を行い、 温泉施設の再開を目指したいと考えています。</p>
<p>○宮崎県の幸福度ランキングと自殺率の関係について</p> <p>宮崎県の幸福度調査、インターネット調査で宮崎県は、幸福度が全国一と情 報があった。一方で、宮崎県の自殺率は、全国ワースト3位となっている。こ の相反するデータに違和感があり、市長のご意見をいただきたい。</p>	<p>幸福度の尺度をどこにするかにもよりますが、食べ物が美味しい、気候が良い、人が 優しいなど総合的に考えて幸福度ランキング1位だと考えています。その一方で、自殺 率が高いのは、仕事や病気のことなど様々な悩みを抱えていても誰にも相談できないと いう要因があると思います。市では、相談窓口の情報の周知と悩んでいる人に気づき専 門的な相談窓口に繋ぐゲートキーパーの養成に取り組み、しっかり機能させていきたい と考えています。</p>
<p>○お倉ヶ浜野球場の整備について</p> <p>お倉ヶ浜野球場が出来上がるということで、楽しみにしている。全体的な、 わかりやすい図面、完成予想図があれば見たい。日知屋公民館でも置いていた だきたい。</p>	<p>施設の概要等がわかる完成予想図を「日向市中央公民館」、「日知屋公民館」、 「大王谷コミュニティセンター」、「細島支所」、「岩脇支所」、「美々津支所」、 「東郷総合支所」に掲示しました。</p>

<p>○区加入について</p> <p>区の運営について、昔は加入率が高かったと思うが、今は区を抜けていく人たちが増えている。区は、防災の面や子どもたちの安全の面でも、とても重要な役割を担っている。電灯とか、消防団の費用とかも、区費で運営しているが、区に入ってない人もそのメリットを受けているとなると、区に入って区費を払う人は損という考えの人がかなり増えていると思う。今後、市としてはどういうふうに、この問題を解決していくのか。</p>	<p>核家族化の進展や個人の価値観が多様化している中で、市全体の区加入率は減少傾向が続いています。防災面や防犯灯の維持管理においても、区が重要な役割を担っていただいております。このことは市広報等でもしっかりとお伝えしているところですが、どのように情報を出せば、区の役割をもっと実感していただけるかが課題であると認識しています。区加入促進に向けて、行政が担う分野と地域の皆さんにお願いする分野とありますので、しっかりと連携しながら取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>○放課後児童クラブについて</p> <p>学校の児童クラブが、時間的に遅くまで見てもらえないので、特に仕事が遅くなる親が非常に困っている。学校に行く前も、母親たちが早く出勤しないといけなくて、区に見てもらえないかとかそういった話も出ている。児童クラブ等の時間延長について検討してもらえないか。</p>	<p>児童クラブの開設時間は、平日は放課後から 17 時までですが、保護者が迎えに来ることが出来る場合は 18 時まで受け入れています。また、土曜日及び長期休業期間につきましては、従来は 8 時 30 分から受け入れしていましたが、保護者の要望により受け入れ時間を 30 分繰り上げて 8 時から 17 時まで開設しています。さらなる開設時間の延長につきましては、他自治体等の状況も参考にしながら、研究していきます。</p>
<p>○市議会議員の議会への出席について</p> <p>4 月に市議会議員選挙があったが、その後の第 1 回議会の時に、新しくなった議員の方が、2 人は出席、2 人は欠席届があり、あとの 5 人は無届けで、市議会が始まったということだが、全員出席すべきじゃないか。市民の意向を持って代表された方なので、特別な理由がない限り出席するのは当たり前じゃないかと思うが出席しなかった方には処罰があるのか。</p>	<p>5 月に臨時会、6 月に定例会が行われました。5 月臨時会の欠席者はゼロです。6 月定例会は、体調を崩された方が 1 名のみ届け出をされて（1 日のみ）欠席された以外は、全員出席しています。この間、無断で議事を欠席された方は 1 人もいません。</p>
<p>○市営墓地について</p> <p>何年前か、市営墓地について市からのアンケートがあったが、今後、市の方で共同墓地や納骨堂の計画はないのかお尋ねしたい。</p>	<p>令和 2 年度に市が実施したアンケートの結果、約半数の方から納骨堂や合葬墓の整備を期待するとの回答をいただいております。現在、納骨堂や合葬墓、樹木葬等、新たな埋葬形態の導入、また墓園の維持管理等も含め検討していますが、課題も多い状況です。</p>
<p>○城山墓園の維持管理について</p> <p>城山墓園の歩道部分、お墓に行く道はコンクリートで整備しているところと砂利のところ、草が生えているところがある。市で除草をやられていると思うが、とてもじゃないけども、それでは足りない。全部の歩道をコンクリートにするということはないのか。</p>	<p>城山墓園は業務委託により年 4 回除草作業を行っています。また、使用者から要望等あった場合は、随時、市の職員が対応をしているところです。通路のコンクリート舗装については、墓園全体の維持管理を含め、今後、検討していきたいと考えています。</p>

<p>○市ホームページについて</p> <p>市のホームページから書類をダウンロードする機会が何度かあるが、必要なダウンロードしたい書類を探すのにいつも手こずっている。もう少し、ホームページで探しやすいような工夫をしていただけないか。</p>	<p>市ホームページは、必要な情報にたどりつけない等のご意見もあることから、掲載情報の整理等に努めているところです。今後も、他自治体等の先進的な取組も参考にしながら、「見やすく・わかりやすく・使いやすい」のホームページの構築に努めていきます。</p>
<p>○市広報について</p> <p>市広報は、年間どのくらい印刷代がかかるのか。各所帯へ配布されているが、特別に市民の皆さんが、全部入れてほしいという要望があって、入れるようになっているのか。</p>	<p>市広報の配布方法変更についての要望は受けておりませんが、区加入者の方には、区を通じて各世帯へ配布しているほか、スーパー、コンビニ、銀行等にも配布しています。令和5年度の市広報印刷製本費は約1,470万円となっています。</p>
<p>○国民の質について</p> <p>最近、子どもを簡単に殺したり親を殺したりとか、日本の国民の質が落ちている。昔は、アメリカの人たち等が、日本人の国民はすごい、いじめも何もない、非常にいい国民という評判だった。どんな教育だったら、日本の国民が立ち直るのか。</p>	<p>人をしっかり育て、育んでいく「人づくり」は、まちや国を良くしていく大切な取組であると考えており、本市の第2期日向市総合計画(総合戦略)でも「人づくり」を市政運営の中心に据えて、さまざまな施策を展開しています。引き続き、「人づくり」の施策とともに、学校教育においては、教科化された「道徳」の授業の充実等に取り組んでいきたいと考えています。</p>

令和5年度「日向の未来を市長と語る会」 ご意見に対する市の考え方

■開催日時 令和5年7月24日(月)

■開催会場 【切島山1区公民館】 参加者数 21名

意 見	市の考え方
<p>○図書館整備について</p> <p>日向の図書館は情けない。門川、延岡、他近隣地区は立派なものができる。計画はどうなっているのか。</p>	<p>現在、新たな交流拠点として複合的な機能を備えた図書館の整備について、庁内に関係職員で構成するプロジェクトチームを設置し、先進自治体の視察を行うなど調査研究を行っています。</p>
<p>○市公式アプリ及びLINEについて</p> <p>市長は、市公式アプリについて、イベント情報が載っていないのは知っているのか。また、去年、LINEを活用して情報発信しますという話を聞かせてもらったと思うが、どうなっているのか。市では専門家の方を雇っていると聞いたので、その方の任期があるうちに速やかに構築していただきたいと思うがどんな感じか。</p>	<p>市公式アプリのイベント情報については、令和5年11月から、市で把握している主な行事予定について掲載しています。LINEについては、行政と市民の皆さんが双方向で情報を共有し、総合的な情報発信ツールとして活用できるよう、令和6年2月からの運用開始を目指して、システムの構築を進めています。</p>
<p>○区画整理地区の側溝蓋について</p> <p>大原住宅の近くに住んでいるが、側溝にほとんど蓋がされていない。最近アパートもできたし、美容室もあり、結構、交通量があるが、入口とかしかな。もう忘れられているのではないか。</p>	<p>側溝蓋については、計画的に設置を進めています。今後も区長と設置状況の共有化を図りながら進めていきます。</p>
<p>○財光寺中学校の自転車通学について</p> <p>夜間、暗いところや危険なところがある。自転車通学であれば少々遠回りしても、安全な道で通学できるのではないかと。学校に言っても、「わかりました。」で終わっているらしいので、検討していただきたい。</p>	<p>中学校の通学方法は、各学校で決定することになっており、過去の事故の状況を踏まえ、自転車通学を認めていないのではないかと認識しています。自転車通学に変更することで、危険が解消できるのか、それとも新たな問題はないのかなど、慎重かつ総合的に検討していく必要があると考えています。保護者や地域の方々のご意見も踏まえながら、方向性を検討するよう促していきたいと考えています。</p>

令和5年度「日向の未来を市長と語る会」 ご意見に対する市の考え方

■開催日時 令和5年7月25日(火)

■開催会場 【大王谷コミュニティセンター】 参加者数 17名

意 見	市の考え方
<p>○大王谷運動公園野球場スコアボードについて</p> <p>大王谷の野球場は、スコアボードがSBOになっている。回路をちょっと入れ替えるだけで、相当お金がかかると聞いているが、プロチームも使用中でスポーツに対する関心を持つためにも改修が必要だと思う。</p>	<p>大王谷野球場については、経年劣化に伴い施設の老朽化が進んでおり、設備等の不具合が発生していることから、大規模な改修が必要と考えています。スコアボードの改修には多額の費用がかかることから、部分的な表示板の改修等を含め、改修費用等を調査し、関係課と協議していきます。</p>
<p>○ゴミ問題について</p> <p>自分の地区でも高齢化が進んでおり、分別の仕方が去年まではわかっていたけれども、今年はわからなくなったという話が結構ある。高齢化社会の中で、このくらいまでは許せるというような検討をしていく必要があると思う。</p>	<p>ごみや資源物の出し方・分別方法等について啓発を行い、ごみの減量化を推進するため、各種団体や事業所等を対象に『出前講座』を実施しています。毎年度、各区に設置しています「ごみ減量化推進員」の研修会において出前講座の周知を行っています。</p>
<p>○総合体育館整備に伴うグラウンドゴルフ場の代替措置について</p> <p>総合体育館整備に伴い、既存のグラウンドゴルフ場の機能の代替地の問題について、その後の検討状況をお知らせいただきたい。</p>	<p>大王谷運動公園の芝生広場を利用されているグラウンドゴルフ団体とは協議を行っており、市の方から利用可能な近隣の公園等の情報を提供し、検討をしていただいているところです。また、大王谷陸上競技場の芝生部分を使いやすくしてもらえないかとの声をいただいております。半面の利用等が出来るように、使用料に関する条例を改正しました。</p>
<p>○大王谷遊歩道の案内板等の整備について</p> <p>大王谷運動公園内の遊歩道の一角に、神秘の蝶と言われるアサギマダラが飛来する場所が数か所ある。その飛来地として、生息の保護活動の促進、あるいは案内板等を設けて整備を行って、魅力ある総合運動公園として、イメージアップしてはどうかと考えているが、見解を伺いたい。</p>	<p>遊歩道の安全性、及び自然保護について地元自治会（区）等と連携を図り、案内板や注意看板など、魅力ある運動公園の整備に取り組んでいきます。</p>

○地域共生社会づくりについて

高齢者が増えてきて、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の方など、支援が必要な状況がたくさんある。民生委員児童委員の皆さんが献身的に家庭訪問や支援を行っているが、民生委員児童委員になられる方がおらず、区長等も苦勞している。市の再任用職員などは長年の行政経験もあるので、8つの民生委員児童委員協議会に配置し、社協や各協議会と連携を図りながら、支援を充実させていくということできないのか。

現在、民生委員児童委員協議会の会長会と8つの地区会等の会議をはじめ、すべての機会に福祉課の職員が出席しており、民生委員・児童委員及び社会福祉協議会との連携に努めています。会議等の中で把握した課題等については、その都度、関係部署へつないでおり、今後とも十分に連携を図っていきます。

令和5年度「日向の未来を市長と語る会」 ご意見に対する市の考え方

■開催日時 令和5年7月28日(金)

■開催会場 【南日向公民館】 参加者数 25名

意見	市の考え方
<p>○駅を活用したまちづくりについて</p> <p>」A日向岩脇支店が閉鎖されることとなった。人口減少、少子高齢化等の社会構造の変化に対応したまちづくりのため、南日向駅を活用したまちづくりはできないか。</p>	<p>本市では、人口減少が進み、市内全体においても産業の担い手不足、住民生活や集落機能の維持などが困難になることが懸念されています。こうした中、今年度から次期総合計画の策定に着手していますので、引き続き、地域別の課題や特性の把握にも努め、人口減少が進んでも安心して住み続けられる環境の充実や、市域の均衡ある発展を目指した計画づくりを行いたいと考えています。</p>
<p>○南日向公民館図書コーナーの拡充について</p> <p>南日向公民館図書コーナーは、図書の利用が少なく、エアコンもないため利用しづらい。エアコンの整備等、拡充はできないか。</p>	<p>公民館図書室の利活用については、定期的に蔵書入替を行っているものの、古い蔵書も多く貸出数が伸びていません。そのため、今年度から提供図書の見直しを行うとともに、担当司書が各公民館担当者へのアンケート等を行い、市民が利用しやすい図書室づくりにつなげていくこととしています。</p> <p>エアコンの故障につきましては、隣の小会議室を利用いただいている状況にあり、ご不便をおかけしておりますので、早期の修繕に取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>○ふれあい館の移設について</p> <p>ふれあい館は、多くの高齢者の方が利用されているが、駐車場が狭く、施設の規模も利用者のニーズに答えられていない。旧岩脇中学校跡地に移設し、子どもから高齢者まで集えるコミュニティカフェの設置など、拡充を図ったらどうか。</p>	<p>民生委員等の会合や一部の講座で一時的に駐車場が不足する状況が見られ、ご不便をおかけしています。駐車場が不足する場合は、施設南側の芝生スペースを開放し対応しているところです。同施設は築20年を経過していますが、現時点では、市内の他の公共施設と同様に、適宜必要な修繕を行いながら、利用を継続していく方針であり、今後とも多くの高齢者の方々の介護予防や生きがいづくりに、ご利用いただきたいと考えています。</p>

<p>○金ヶ浜園地の整備について</p> <p>金ヶ浜園地は、今年度、園路の整備が行われるようであるが、我々が一番必要としている水道施設や電気設備の計画がない。子どもの手洗い場がほしいとの意見もある。ぜひ市の方で水道施設等の整備を検討してもらいたい。</p>	<p>金ヶ浜園地における水道施設や電気設備の整備については、管理者であり、事業主体である宮崎県に要望を行っていきます。</p>
<p>○金ヶ浜ニュータウンの道路について</p> <p>金ヶ浜ニュータウンの道路の市道認定について、昨年9月に議会へ請願を出したが、市道に対する基準があり、それに適していないということで趣旨採択となった。どこがその基準に適さないのか、わかりかねるので、説明していただきたい。</p>	<p>金ヶ浜ニュータウンの道路は、「日向市市道の認定及び廃止の基準に関する要綱」に適合しない箇所が多数あり、開発業者との協議を続けているところです。</p> <p>なお、主な不適合箇所の適合条件は下記についてのものであります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行き止まり道路の場合は、一端が公道に接続し、他の一端に自動車用の回転可能な場所が設けられている袋路状道路であること。 ・交差箇所及び屈折箇所については隅切を有するものであること。 ・道路用地と道路用地以外の土地の境界が、境界鉄等により明確に区分されていること。 ・側溝、集水枡その他の適切な排水施設が整備されており、流末も確保されていること。 ・道路の縦断勾配が9%未満（やむを得ない理由がある場合は12%未満）であること。
<p>○南日向 日の平線の整備について</p> <p>南日向 日の平線は、残りの未整備区間が約700mほどあり、特に河川側の道路の路肩は、大変傷んでいる。車が離合するのも大変で、危険でもあるので、早期全線開通に向けた取組をお願いしたい。</p>	<p>今後の整備区間については、地元の道路建設委員会と、優先すべき区間を選定し、「1.5車線の道路整備」による整備手法で安全で安心な道路の早期完成を目指します。</p>
<p>○平岩地区のインフラ整備について</p> <p>最近、平岩を見捨てられたという意見をよく聞く。災害を考えたときは、平岩は高台にあり安全である。規制を外して、インフラを整備すれば、ベッドタウン化が進むと思うがどうか。</p>	<p>本市が令和3年6月に公表した「日向市立地適正化計画」の中で、平岩地区においては、南日向駅を中心に、渡辺産婦人科や平岩小中学校などを含む区域を地域の拠点として「都市機能誘導区域」に位置付け、必要な施設の誘導を図っていくこととしています。</p> <p>また、当拠点と周辺の集落を結ぶ道路ネットワークの充実に向けて「南日向日の平線」や「靱木線」の改良のほか、その他市道の維持管理に取り組んでいます。</p> <p>このほか、平岩地区においては市街化調整区域が含まれており、当該区域内においては、原則として住宅等の建築が規制されますが、昭和45年以前から、宅地であった土地や集落等においては、建築が可能となる場合がありますので、建築を検討される際は、市にご相談ください。</p>

<p>○平岩跨線橋について</p> <p>本宮区の鉄橋の件、説明会を何度か聞いたが、担当者からは立地的にできないの一点張りである。調査をちゃんとしたのか。撤去と再建を別にしてもらいたいと言われるが、通行止めにしたということは撤去したと同じ。撤去した後には再建を検討する、不便になるので、ぷらっとバスをまわすとか言われたが、その後話がない。どうなっているのか。</p>	<p>平岩跨線橋の架替につきましては、これまでに撤去を行うための設計内容等をもとに調査、検討を進めてきましたが、撤去に比べ、広大な作業ヤードが必要となり、現地が国道10号や住宅に囲まれ、作業ヤードの確保が困難なことや、線路西側に長大な空石積みのり面があることなどから、架替は困難と判断しています。今後も住民説明会等を通じて、情報提供を行いながら取り組んでいきます。</p> <p>なお、ぷらっとバスの市道笹野線の運行につきましては、道路幅員が狭いことや既存ルートの利用者への影響等から困難な状況です。</p>
<p>○海岸線の流木への対応について</p> <p>海岸沿いは、国立公園でもあるが、非常に大きい流木が流れ着いている。これは、我々がクリーンアップ作戦等で、何とかできるものでもない。市、県、国が一带となって予算を組んでいただいて、海岸線をクリーンにする環境づくりを検討していただきたい。</p>	<p>現地調査を行い、その状況を海岸管理者である県（日向土木事務所・北部港湾事務所）に報告し、堆積流木の除去を要望しています。伊勢ヶ浜とお倉ヶ浜海岸（一部）の除去は今年度を実施していただいたところですが、他の海岸については、予算が確保できた時点で除去したいとの回答でした。今後も海岸管理者に対し、きれいな海岸を維持していくため、要望を続けていきます。</p>
<p>○旧平岩中学校跡地へのコミュニティセンター整備について</p> <p>旧岩脇中学校跡地にコミュニティセンターをつくるのに賛成である。子どもを安心して育てられる環境づくりが必要で、それプラスコミュニティセンターで地域の方々と触れ合う中で、平岩の培われてきた文化や遊びとか、そういう関わりを増やしていくのが地域の形だと思う。ステアーズオブザシーで働いており、移住のことも相談される。平岩を盛り上げるためにコミュニティセンターの整備をお願いしたい。</p>	<p>旧岩脇中学校の跡地の利活用につきましては、令和3年3月に、平岩地区区長公民館長会、平岩自治会及び平岩まちづくり協議会より連名で要望書をいただいたところであり、現在、その要望書に沿ってグラウンドの開放や老朽施設の解体を進めています。今後とも、関係団体の皆様をはじめ、広くご意見を聞かせていただきながら、検討を進めていきたいと考えています。</p>

令和5年度「日向の未来を市長と語る会」 ご意見に対する市の考え方

■開催日時 令和5年9月19日(火)

■開催会場 【美々津老人福祉センター】 参加者数 31 名

意 見	市の考え方
<p>○台風による流木の堆積について 台風の影響による流木の堆積が問題。毎年流木が発生するのはやむを得ないが、早く撤去するためにも、取り付け道路の整備や県に年間予算の要求をしてほしい。</p>	<p>一部の海岸においては、重機・車両等の搬入路がなく、対応が難しいとの話も伺っていますが、早期撤去に向けて海岸管理者（県）に要望しています。</p>
<p>○美々津小中一貫校の整備について 百町原に企業が入ると聞いているが、地元では美々津の小中一貫校が（高台に）上がってくると考えている。企業が入ってしまったら、学校はどうなるのか。南海トラフ巨大地震を身近なものとして考え、できるだけ早めに美々津の小中一貫校の移転を考えてもらえないか。</p>	<p>美々津の小中一貫校につきましては、学校規模の適正化に併せて高台へ移転する計画を令和6年度に策定し、令和7年度から整備場所や規模等の検討を進めていきます。</p>
<p>○美々津公民館について 南側の壁面を強化すると聞いたが、美々津公民館の仮設に関するリース会社への支払い等はどうなっているのか。</p>	<p>「仮設美々津公民館」の賃借料は、令和5年6月から令和7年3月までの22か月の合計で2,178万円、月額99万円の支払いになります。壁面については、「美々津公民館」の敷地の東側の擁壁のこととと思われますが、補強工事等の予定はありません。</p>
<p>○市庁舎建設に関する償還について 市庁舎も今度から償還が始まると思うが、予算がないといわれる中で償還については、どうなっているのか。</p>	<p>市庁舎の建設に係る市債については、平成29年度から償還が始まり、令和20年度までが償還期間となっています。令和4年度に償還した元金と利子は、約2億6,960万円です。なお、このうち7割の約1億8,870万円が交付税の計算に反映されています。市では、建設事業等の実施に伴い市債の借入れを行う際は、交付税算入率の有利な地方債を活用するとともに、新規発行額を元金償還額以内に抑制するなど、市債の残高圧縮に努めています。</p>

<p>○ごみ焼却について</p> <p>何か整備するのに、いつも予算がないと言われるが、ごみ焼却についてはどうなっているのか。</p>	<p>日向東白杵広域連合の清掃センターで焼却している「燃やせるごみ」の処理に関する経費については、広域連合の構成市町村で分担しており、令和4年度の日向市の負担額は、約2億2,800万円となっています。</p>
<p>○日向市上下水道料金センターについて</p> <p>水道課の集金窓口は、指定管理で福岡の会社に頼んでいると思うが、建物の電気代、水道代、賃料等、金額を全部教えてほしい。</p>	<p>光熱水費や建物の賃借料等は、契約の内容が各種受付等に係る窓口業務、検針や閉開栓業務、及び料金の収納・調停・債権管理業務、並びにメーターの在庫管理等業務など、庁舎内で業務を行うことを条件として直接業務にかかる費用について契約しているため、光熱水費や建物の賃借料等は発生していません。</p>
<p>○市民税について</p> <p>給料が上がっていないのに、なぜ市民税は上がっているのか。</p>	<p>令和4年度・令和5年度において基本的な税率等に変化は無いため、個人ごとの要因で税額が変わっているものと思われます。毎年6月に特別徴収に関する明細書を勤務先を通してお渡ししていますので、ご不明な点等ありましたら、お問い合わせください。</p>
<p>○情報発信について</p> <p>本日質問したことを文書にして、回覧版でも何でもいいから全部市民が見られるようにしてほしい。区未加入者には回覧版は回らないし、ホームページも見られない人がいる。その人たちにどうやって伝えるのか。</p>	<p>「日向の未来を市長と語る会」でいただいたご意見等については、市の考え方をまとめて、市のホームページで公表します。紙ベースでの配布については、ページ数も多く、各世帯等への配布は難しいことから、今後も効果的な情報発信のあり方について研究していきたいと考えています。</p>
<p>○野球場等の整備について</p> <p>野球場、ソフトボール、競技場等、今から作るのであれば、公式戦がちゃんとできるものを作ってほしい</p>	<p>市民、及びスポーツキャンプ利用を含め、「令和9年度国民スポーツ大会」における軟式野球、ソフトボールの会場として必要な施設整備に努めていきます。</p>
<p>○大王谷運動公園プールについて</p> <p>大王谷のプールを壊さないでほしい。どのように考えているのか。</p>	<p>大王谷運動公園の水泳場は、築40年が経過し、老朽化が進んでいます。大規模な改修には、多額の費用が必要な状況を踏まえ、水泳場を取り壊して、体育館を建設することにしました。水泳場の代替としては、令和6年度に大王谷学園初等部のプールの開放を予定しています。以降につきましては、その状況を踏まえて検討していきます。</p>

<p>○外国人労働者に関するアンケート調査について</p> <p>先日の新聞に外国人労働者に関するアンケート調査の結果が出ていた。47都道府県に対するアンケートであったようだが、日向市がどのように返答したのか教えてほしい。</p>	<p>共同通信からの自治体アンケートについては、外国人について今後増える見込みであり、人手不足の中、人材受け入れの推進は必要と回答しています。外国人が暮らしやすい地域づくりの課題として、言葉の壁（外国人住民とのコミュニケーション）をあげているところです。</p>
<p>○外国人労働者について</p> <p>外国人労働者が、今、日向市に、どこの国からどのくらい来ているのか。</p>	<p>外国人労働者については、宮崎労働局から公表されている令和4年10月末現在の人数等は、日向公共職業安定所管内で、98事業所、395名となっています。（令和5年10月末現在の数字は令和6年1月頃発表見込み）</p> <p>職業安定所管内ごとの国別の内訳については、発表されていませんが、宮崎県全体の技能実習生は、ベトナム、インドネシア、中国、ミャンマー、フィリピン、カンボジアが多くを占めています。</p>
<p>○技能実習生制度について</p> <p>外国人労働者は技能実習生という形で入ってきているが、技能実習生は一度企業に入ったら、その仕事が合わないとっても、他の企業に変えることができない制度になっている。しかし、職業の選択が自由になると都市部に外国人が流れていくため、宮崎県は不利ではないか。そのあたりの対策を日向市ではどの程度進められているのか。</p>	<p>同制度につきましては、現在、国において見直しが検討されており、報道にもありましたとおり、厳しい職場環境に置かれた技能実習生の失踪が相次ぐなどしたため、政府の有識者会議は今の制度を廃止するとした最終報告書をまとめました。</p> <p>新たな制度は人材の確保と育成を目的とし、名称も「育成就労制度」に変えるとしています。働き先が自由に移れるようになると、賃金水準が高い大都市圏に外国人が集中する恐れがあり、国においては、制度改正の際に十分配慮していただきたいと考えています。</p> <p>また、受け入れ先企業としては、常に自社に魅力を感じ生き生きと外国人が活躍できる環境をどれほど用意でき、それを実際に外国人に感じてもらえるかが重要です。本市としましても、日向にせっかく来ていただいた外国人の方々が、働きやすく安心して地域社会で暮らせるということは、大切であると考えておりますので、生活面や地域との交流等も含め、雇用主である事業者と連携を図っていきたいと考えています。</p>

<p>○サンパーク温泉について</p> <p>サンパーク温泉について、次に引き継ぐところでも、また温泉をやっていたかというような条件もあるのか。</p>	<p>以前より、源泉の温度が下がったり、湯量が少なくなっている状況の中、温泉施設で再開するのか、温浴（水道水）施設で再開するのか、応募いただいた企業と方向性を決めていきたいと考えています。また、今回は施設を改修する補助金を交付する形で公募したいと考えています。</p>
<p>○区未加入者への対応について</p> <p>区未加入者に対して、区長や区の役員から加入を呼びかけてほしいと言われているが、区に言われても困るし、区長の仕事ではない。行政から言わないと未加入者はいくら言っても入らない。</p>	<p>区未加入世帯に対する区加入促進活動は、日向市区長公民館長連合会においても重点事業のひとつとして取り組んでいただいています。市においても、区加入促進活動は重要な取組であると認識していますので、引き続き日向市区長公民館長連合会や関係機関の皆様と連携しながら、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>○イベント時の広報について</p> <p>催し物をするときには、当然回覧でも回ってくるが、中止になったときなどは広報車で回ってもらうのが一番良い。中止の案内を回覧されても、イベント当日までに全員が見られないと困るので、広報車で回ってもらいたい。</p>	<p>イベント等の中止や延期等については、市広報やホームページへの掲載、チラシの配布、SNS等での情報発信のほか、広報車も活用するなど、可能な限り周知を図るところです。今後も他自治体等の先進的な取組を注視しながら、効果的な情報発信のあり方について研究していきます。</p>
<p>○運命のレシピについて</p> <p>先日、運命のレシピが開催されたが、今後も継続するのか。</p>	<p>9月に開催した「運命のレシピ」については、今後、数年に1回の開催を目途に、開催スパンやイベントのあり方などを検討していく予定です。</p>
<p>○小学校のプールについて</p> <p>プールの件で、幼児が泳げる場所が何か所かあると言われていたが、明確にどこの小学校か教えてほしい。深さはどれくらいなのか。</p>	<p>小学校プールで低学年が泳げるよう浅いプールを設けている学校は、「大王谷学園初等部・富高小学校・塩見小学校・財光寺小学校・寺迫小学校・坪谷小学校」の6校で、水深は50～60cmとなっています。</p>

<p>○サンパーク温泉について</p> <p>サンパーク温泉の問題はいつまでやっているのか。温泉の湯量や温度も下がっているということで以前よりも費用がかさむ。補助があっても手を挙げる企業はいないのではないか。温泉とは切り離して、建物を活用できる方法を打ち出してみてもどうか。</p>	<p>補助金の交付等を条件として、まずは再公募したいと考えています。また、応募した企業に対して支援できることがないか、関係機関と協議中です。国定公園の中に建物があるため、建物の使い道など様々な制約があり、市としては、観光の面から考えても、温泉若しくは温浴（水道水）施設としてできるだけ早い時期に再開したいと考えています。</p>
<p>○水道事業について</p> <p>水道関係で、美々津、幸脇地区で停電になったときに、そこで何時間ぐらい、何日ぐらい水が持つのか。</p>	<p>美々津、幸脇地区に送水を行っている幸脇中継ポンプ場には「非常用発電機」が備え付けられているため、停電になった場合においても各ご家庭に給水を継続することが可能です。【参考：遠見幸脇配水池有効用量 1,400 立米（概ね通常使用時の1日分）】</p>

令和5年度「日向の未来を市長と語る会」 ご意見に対する市の考え方

■開催日時 令和5年10月17日(火)

■開催会場 【中央公民館】 参加者数 20名

意見	市の考え方
<p>○DX 推進事業について</p> <p>DX 推進の事業は、確か令和4年、国が4700億円ぐらいの予算をつけて、各地方自治体もしくは県に分散するような形で進めたんじゃないかと思うが、この予算が不足するという事態は考えられないのか。</p>	<p>国の令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金の当初予算(1,000億円)と補正予算(800億円)の合計は約1,800億円となっています。交付金については、各自治体が交付要綱に基づく事業計画等を国に申請し交付決定を受けることとなりますが、申請内容によって交付率が変わります(1/2・1/3)。なお、国においては、自治体の事業進捗に影響が出ないよう補正予算で対応するなど、柔軟に対応していただいていると理解しているところです。</p>
<p>○図書館の整備について</p> <p>図書館の整備充実というのは、今の図書館を利用して使うのか、今後、新しく図書館を建設する意向があるのか。</p>	<p>現在、新たな交流拠点として複合的な機能を備えた図書館の整備について、庁内に関係部署の職員で構成するプロジェクトチームを設置し、先進自治体の視察を行うなど、本市の規模に合った施設のあり方などを含めて調査研究を行っています。</p>
<p>○声かけ事案や熱中症への対応について</p> <p>堀一方地区も声かけ事案とか、昔と違って、温暖化のこともあり、子どももなかなか外で遊べない状況になっている。子どもが、夏でも、安心して過ごせるようなところを増やした方がいいのではないのか。</p>	<p>子どもの安全を守る取組は重要だと考えています。例えば、声掛け事案の対応への取組として、毎年、小学1年生には防犯ブザーを配備(企業寄付)し、使い方を指導する中で防犯意識の向上を図るなどしています。夏でも安心して過ごせる場所としまして、図書館や児童館をはじめ、保護者が就労している家庭の児童については、児童クラブの利用も可能となっています。今後は、広く安心できる居場所を増やしていくため、民間の方々のお力添えもいただきながら取組を進めていく必要があると考えています。</p>

<p>○日知屋児童館について</p> <p>日知屋公民館、児童館は、結構、古くなっているような感じがするが、建て増しして、大王谷みたいにもっと広くできるような考えはないのか。</p>	<p>日知屋公民館及び日知屋児童センターを含む公共施設は、日向市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画により、長寿命化を図るほか、設置目的が達成できるよう維持管理を行っています。</p> <p>当該施設につきましては法定耐用年数まで余裕があり、現時点では建て替え等は考えておりません。</p>
<p>○市民活動について</p> <p>市では様々な施策があるが、市民活動というものを、市長はどのようにイメージされているのか。</p>	<p>市民の主体的な活動に対し、サポートしていくのが行政であるべきと考えています。今後も市民活動支援センター業務を行っている「さんびあ」と連携し、市民活動の支援・促進に取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>○人口減少対策の取り組みについて</p> <p>夕刊に河野知事が人口減少対策の取組ということでニュースが出ていたが、日向市の高齢化率を教えてください。</p>	<p>10月1日現在の高齢化率につきましては33.39%であり、3人に1人が65歳以上の高齢者となっています。</p>
<p>○夜間中学の設置について</p> <p>宮崎の清山市長が過去に学校に行けなかった人のために夜間中学を進めていきたいということを言われていたが、市長が考えられている範囲で何かあればお願いしたい。</p>	<p>学齢期に学校に行けなかったり、様々な事情で十分に学ぶことができなかったりした方々にとって、夜間中学の開設は「学び直しの場」になります。令和3年に県が実施した「夜間中学ニーズ調査」の結果を受けて、宮崎市が県中央に位置していることなどを踏まえて設置を決定。令和6年4月に開校予定(令和6年4月入学募集は既に終了)で、本市から入学を希望される方には、就学のための支援を行う予定にしています。</p>
<p>○小中学校の児童生徒数について</p> <p>少子高齢化と言われているが、日向市の子どもたちの数の変遷はどのようになっているのか。</p>	<p>令和5年5月1日現在、小学生が3,168人、中学生が1,642人です。少子高齢化の進行に伴いまして、全国的にも児童生徒数が減少しており、本市においても年々減少傾向にあります。</p>

<p>○教員の確保について</p> <p>働き方改革というのがよく言われているが、学校の先生は非常に忙しい。教員の希望者が、なかなか確保できない点について、わかる範囲でお伝えいただきたい。</p>	<p>教員不足は、不登校や学力向上などの課題を背景に、教職員が多忙を極めている現状が大きく影響しています。本市では、「教員の働き方改革」に県内でも先駆けて、様々な取組を行っており、例えば、印刷やテストの丸付けなど教員業務を支援するスクールサポートスタッフを配置し、子どもと向き合う時間の確保にも努めています。</p> <p>また、今年度から週末部活動の地域移行に向けた準備も開始していますが、国が政策として教員確保に取り組む必要性を感じています。</p> <p>「人づくり」の視点からも喫急の課題として、教育に携わる先生方の多忙感解消に向けた「教員の働き方改革」に引き続き取り組んでいきます。</p>
<p>○日向市の学力について</p> <p>学力テストがあるが、日向市の子どもたちの学力はどのような具合か。</p>	<p>本市の子どもたちの学力は、分野によって、課題が見られる教科があります。そこで先生方の授業力向上を目的とした研究(授業)公開をはじめ、今年度より、学力向上担当専任指導主事を配置し、教員の直接指導やスーパーティチャー(県指定)を招聘した研修等に取り組んでいます。</p>